

川崎で、グッド・アクション!

かわさき市民活動センター | ボランティア・市民活動情報紙

川崎市内のボランティア・市民活動は
<http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>



美容師は、“切る”仕事ではなく
“つなげる”仕事。

宮前区在住

今号のカバーSTORY

NPO法人なかよしの花 安斉遼平 あんざい・りょうへい さん

「なかよしの家」は、NPO法人なかよしの花が運営する重度障がい者グループホーム。そこで介護士として働く安斉さんは、ヘアスタイリストでもある。ご家族が通う「なかよしの家」で、他の利用者の髪も切るようになり、縁がつながって職員となった。高校生だった東日本大震災の直後には、「自分達に何か出来ることはないか」と街頭募金活動を敢行。その後は海外ボランティアツアーに参加を続けるなど、共感を即座にアクションに移す行動派だ。「世界には多くのヘアカットをしてもらえない子どもたちがあります。今の介護職の経験を活かして、いつかは髪をカットしながら世界一周したいですね」と優しく話す安斉さんへのインタビューコラムは、ホームページの「U-50」でお読みください。

U-50

インタビュー/コラム形式で、川崎市内NPOで活躍する若手エースを紹介しています。ホームページで、毎月連載を更新中です。



◀アンダー50の連載はこちら▶



Amazon「みんなで応援」プログラム ほしい物リストで笑顔をお届け



Amazon「みんなで応援」プログラム
全国各地で物資の支援を必要として
いる団体・施設・個人を、Amazon.co.jp
を通じてサポートできるプログラム
です。それぞれの支援先が作成した
「ほしい物リスト」から商品をご購入
いただくことで、簡単に物資の支援が
行えます。
(Amazonのサイトより)

(下) Amazon「みんなで応援」プロ
グラムで検索。サムネイル画像で、団体
の最新のほしい物リストが一覧表示
される。

Top

サポートプログラムで物資を募る

支援が身近に、迅速に。

2020年11月からスタートした、Amazonを使って日本全国から物資を直接支援してもらえ、インターネット・ドネーション・サポート・プログラム。物資が不足している市民団体にとっての好機となっており、期待が広がっている。「寄付しても、有益に使ってもらえているか不安」、逆に「寄付の申し出はありがたくても、現在必要がない物品は活用できない」といった、今までの「支援する側」と「される側」のギャップも解消されている。

支援したい人は誰でも、自身の判断と金額範囲で寄付ができる。サイト上の写真と情報の一覧から応援したい団体を選び、「ほしい物リスト」の商品をチョイス。カートに入れ購入するだけで、支援が完了する。活動カテゴリや地域から支援先を選ぶこともできる。Amazonアカウントを持っていれば5分程度で完了するので、負担感がなく気軽だ。支援を求める側は、物資が手元に届くので、輸送の手段やコストの悩みからも解放される。双方が便利なおうえ、プログラムが介在することでAmazon利用者の個人情報も保たれ、安心感も高い。総合オンラインストアのAmazonだからこそ、食材、問題集、ペット用品など、幅広いカテゴリーの商品を寄付することができる。

このプログラムを希望するNPO法人、市民活動団体、施設は、インターネットフォームで簡単に申し込みができる。サイトへの掲載期間に期限はなく、もちろん無料だ。なお、カテゴリーによっては「Amazon 保護犬・保護猫 支援プログラム」といった、専門の支援プログラムが立ち上がっている。詳細は、<https://amazon.co.jp/ouen>で。【よくあるご質問】や【支援要請のための「ほしい物リスト」作成方法】でも、わかりやすく解説されている。



Amazon「みんなで応援」プログラムを活用中！

このサイトには、物資を希望する多くの子ども食堂が見受けられます。かわさき市民活動センターに登録している団体の子ども食堂「まきまきキッチン」も、「みんなで応援」プログラムを利用中。「ほしい物リスト」には、子どもたち用のお菓子や飲み物などが掲載されています(2022年5月)。プログラムの感想を伺いました。

子ども食堂「まきまきキッチン」 代表：安西卷子(あんざい・まきこ)さん

「手続きも簡単で、短期間でスピーディに参加できました。必要な物資をアップするとすぐに送ってくださる方がいらっちゃって、本当に助かっています。嬉しいだけに、送ってくれた方々に直接御礼を言えないのが少し残念なんです。この場で『ありがとう』を心からお伝えします！」



いつも応援を
ありがとうございます

(※寄付者は送付時に名前や応援コメントを記入することも可能です。)

コーダードジョーが武蔵小杉に登場!

CoderDojo (コーダードジョー) は、子ども*^①がプログラミングを自由に学べる、非営利の知的な交流の場。教室とは一線を画す。「現代社会でプログラミングを理解する重要性は増し、早期にスキルを学ぶ機会を誰もが拒まれるべきではない」と、2011年にアイルランドから始まったアクションだ。多くの共感を持って熱く支持され、世界的な運動かつ現象となっている。112カ国に2,200、日本国内では239以上の道場が開かれている(2022年3月時点)。5万8千人の子どもが参加中で、いままでに16万人の若者にポジティブな影響を与え、1万2千人*^②のボランティアが「CoderDojo憲章」に沿って各道場を運営する。憲章は、「参加者・保護者・ボランティアから料金を徴収しない。知識を自由にシェアできる。性別・人種・性的指向・信念・宗教・能力に関係なく参加を歓迎する」といった、オープンな内容だ。

「CoderDojo武蔵小杉」の運営代表は、田中章愛(たなか・あきちか)さんと、村瀬真琴(むらせ・まこと)～通称キノコ1号～さん。田中さんは現役のロボットエンジニア、キューブ型ロボット「toio(トイオ)」*の開発者だ。高等専門学校生の時に「ロボコン」に出場経験もあり、「小学生ロボコン」の審査や解説も行っている。ソフトエンジニアの村瀬さんとは、プログラミングやSTEAM*^③などのイベントに関わる過程で出会ったそう。そして、2人の住む地元・中原区でCoderDojoを始めることで意気投合!川崎市内では久地、溝口に続いての開場となった。

2人は、地域の交流を深めながら、ぜひ「モノづくりに興味を持つ子どもたちの挑戦をサポートしたい」と考えている。村瀬さんは、工学や科学技術分野のインスピレーションに溢れた、いわゆる「スーパーキッズ」と出会ってきた。武蔵小杉でも、そんな出会いを「ドキドキ」しながら期待しているそう。



田中さん(左)と村瀬さん(右)は、Dojoで「チャンピオン」と称される。こんなスゴイ人たちが、「モノづくり」の未来に向けて開催しています。

2022年5月8日の第1回「CoderDojo武蔵小杉」では、子どもたちがそれぞれのペースでプログラミングしたり、PC画面に向かったり...と、自由な雰囲気。疑問があると、自主的に「メンター」と呼ばれる指導者(大人や若者)に質問する。「メンター」たちは惜しみなく知識を伝授する。今後も武蔵小杉に縁のある小中学生を対象に、毎月1回・日曜日に開催予定。会場は、主にかわさき市民活動センター会議室にて。



toio(トイオ)とプログラミング画面



会場、右はロゴマーク

※発売元: ソニー・インタラクティブエンタテインメント <https://toio.io>

詳しい情報は、以下のURLをチェックしてね!

<https://coderdojo-musashikosugi.connpass.com/>

2022年5月時点でCoderDojo武蔵小杉で扱うのは、Scratch、toio、JavaScript、GoGoロボットプログラミング、Springin'、micro:bit、M5Stack。

*^① 概ね7才から17才向け *^② 国、人数はCoderDojo.comと<https://coderdojo-musashikosugi.connpass.com/>から引用 *^③ STEAMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念

Seminar Report

パワーアップセミナー 5月29日開催・レポート



▶セミナーの開催告知は、随時チラシ・HPにて

動画制作などでも注目され、数々のセミナーの講師をされている、映像ディレクターの中山望さんをお迎えして、<動画×SNS 元NHKディレクターが教える動画をSNSで効果的に発信するコツ>をテーマに開講しました。WEB動画は文字や写真と比べて、多くの情報が伝えられることがメリット。「リールという15秒または30秒の短い音楽をつけたショート動画に、効果的なハッシュタグ(#)をつける投稿が、最もアクセス数が高く短時間で多くの人に届く」とのお話や、編集・撮影のテクニックも紹介していただきました。何を発信し、どんな相手に届けたいのか、方向性を考え台本を作ることの重要性を学び、ワークも実施しました。SNS動画のトレンドがみっちり詰まった講座となりました。

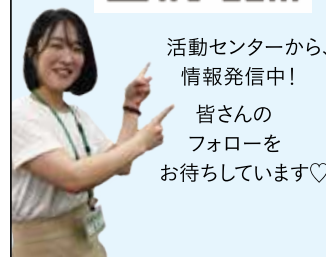
お知らせ

Twitter始めました!



活動センターから、情報発信中!

皆さんのフォローを待ちしています♡





「こども文化センター」は、市民活動の地域拠点

小中学生だけでなく乳幼児から高齢者まで、多世代が交流する施設「こども文化センター」。子どもたちの利用が少ない午前中から放課後までと夜間の時間帯は、児童福祉関係者や地域のみなさんの活動拠点としても利用されています。団体登録して各部屋や印刷機などの設備が利用できます(予約制)。各区のこども文化センターの運営について詳しくは、財団ホームページ(QR)をご確認ください。地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかな成長を図ります。



幸こども文化センター(幸区)



※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター53施設のキャラクターです。
※わくわくは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。

パワーアップセミナー

7/9 土
13:30~16:30

「ブランディングで団体の価値を伝える」

〜こすぎの大学や川崎モラルの企画運営を培ってきた経験を踏まえて〜

講師 こすぎの大学
岡本克彦(オカボン)さん

- かわさき市民活動センター会議室
- 受講料1,000円
- 詳細はホームページで



2022年10月1日 土 10:30~15:30

会場：かわさき市民活動センター、中原市民館

年一度の「市民活動見本市」、1日でさまざまな活動に出会える!

ごえん楽市2022



ステージ、ワークショップ、パネル展示、動画上映、販売など。
パネルと動画は10/31までセンター館内に展示。

川崎市からのお知らせ

※新型コロナウイルスの影響により、掲載している各講座は変更になることがあります。

① NPO法人実務基礎固め講座を開催します

総会開催や各種届出などNPO法人に必要な事務について、実践的に学べる講座です。

日時 令和4年7月27日(水)
午後6時~午後8時30分

会場 中原区役所 501会議室

対象 事務所を川崎市内にのみ置くNPO法人で、運営実務に携わる職員、スタッフ

定員 25名 ※先着順、事前申込制(1法人あたり2名まで)
※配慮が必要な方は7月13日(水)までに申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

申込方法 電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム、または窓口で直接
※FAXの場合は、①お名前 ②法人か団体名 ③参加人数 ④電話番号を必ずご記入ください。

申込先問合わせ 川崎市市民文化局市民活動推進課 電話:044-200-2341 FAX:044-200-3800

② NPO法人設立事務説明会を開催します

NPO法人制度の概要や設立認証申請の際の書類作成等のポイント、設立後に提出が必要になる書類についてご説明します。

日時 令和4年7月30日(土)
午後2時30分~午後4時30分

会場 中原区役所 502会議室

対象 川崎市内でNPO法人の設立を検討している方や、法人格の取得を検討している団体の方

定員 30名 ※先着順、事前申込制(1団体あたり2名まで)
※配慮が必要な方は7月15日(金)までに申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

川崎市HP NPO法人 関連

ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2022年夏号(通巻No.302)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577

メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>